（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスMARBLE

令和８年　４月　１日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		学習部屋と活動部屋がしっかりと区別されており、集中しやすい。	利用定員につきましては、活動室や設備の状況を踏まえ、お子様一人ひとりが安全かつ落ち着いて過ごせる適切な人数設定となっております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		利用児１人に対して職員が１人付く状況があった場合でも、他の職員は十分に確保されている。	職員の配置につきましては、基準を満たした上でお子様一人ひとりに目が行き届くよう適切に配置されております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーに関しては、今後改善すべき箇所もあるが、現時点では十分な配慮がされている。	お子様が安全に、そして安心して過ごせるよう配慮された環境となっており、活動に応じたスペースの確保も適切に行われております。現在、完全なバリアフリー化には至っておりませんが、出来得る限りの環境整備を考えております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		学習と活動のスペースが明確に分けられており、安心して過ごせる環境を整えている。	お子様が過ごす生活空間は、衛生管理にも配慮しております。一部の設備に配慮が至らない場合には、管理体制の見直しを徹底して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちが落ち着かない場合には、職員の目が届く範囲に利用児が1人に慣れる環境を設けている。	必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用できる環境が整備されており、落ち着いて過ごせるよう配慮しております。今後も、個々のニーズに合わせた環境の提供に努めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		ヒヤリハット報告や職員会議を通して、課題を提供した上で次回の活動に反映させている。	業務改善に向けたPDCAサイクルについては、会議や日々の記録を通じて職員が参画しております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		開所して初めての保護者評価に伴い、業務改善に関しては今後行っていく。	今後は保護者向け評価を実施し、意向を把握する機会は設けて参ります。また、得られた意見に関しては、職員間で共有し業務改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々の朝礼にて意見をのべ、出た意見はその場で改善策が提示されることもある。	定期的な会議や日々の情報共有を通じて従業者の意見を把握する機会を設けております。職員一人一人が、積極的に意見を出しやすい環境づくりも行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		現時点では第三者評価による外部評価は実施していませんが、今後必要に応じて導入を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員が職場外で受ける研修に含め、内部研修、また、関係機関が出向く出張講座なども設けている。	職員の資質向上を図るため、内部・外部研修への参加の機会を確保しております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			支援プログラムは、子ども一人ひとりの発達やニーズに応じて適切に作成され、公表も行われております。保護者様や関係者が内容を理解できるよう配慮し、分かりやすい情報提供に努めて参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		６ヶ月ごとのモニタリングや、場合に応じたケース会議などで提示された困り感に対して、しっかりと記録し、計画書にも反映させている。	日頃の放デイでの生活や家庭状況に応じてアセスメントを実施しております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		今後、評価までにどういった内容で支援をしていくべきか共有するためにも、職員が把握できる機会を設けている。	お子様に合ったニーズを踏まえ、最善の利益を考慮した支援内容となるよう努めており、今後もチームでの連携を大切にしながら質の向上に取り組んでまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		モニタリングを迎える時期を目処に、支援会議として記録を残している。	計画書は職員間で共有されており、計画に沿った支援も行われています。今後も、定期的な確認を行い、計画の精度向上に努めて参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		子どもの得意、不得意なことを把握し、随時家庭の様子をヒアリングし記録している。	ツールと観察で確認を行い、支援に活かしております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		本人のスキル向上に踏まえ、保護者に対しての相談支援、保育所等訪問による関係機関とも情報共有、また、学年によっては進路や就学を見据えた目標を設定し、アプローチを行っている。	ガイドラインに沿った具体的な支援内容が設定され、計画に反映されております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月行われている職員会議にて、それぞれの職員から活動内容の提示がされている。	活動プログラムの立案につきましては、諸君間で情報共有や意見交換を行いながら、検討・作成しております。今後もチームの連携を大切にしながら内容の充実を図って参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		前回行った活動でも、目的や内容を少し変えることで固定化を防ぐ。	活動プログラムが固定化しないよう、お子様の興味や発達状況、季節や行事などを取り入れながら、内容に変化を持たせるなどの工夫を行っております。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		同じ活動内容でも個人差はあるため、必要に応じや支援を行っている。	社会性や自立に向けたスキルの育成に繋がるよう努めており、今後もより良い支援の提供に努めて参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日の朝礼にて、十分な内容を伝えることで、サービス時間が有意義に過ごせるようにしている。	前日や当日に打ち合わせを行い、支援内容と役割を連携しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		打ち合わせという名目ではないが、その日に起きたトラブル等には、その日に反省を行い改善に繋げている。	お子様の様子や変化について情報共有を図ることで、次の支援に活かせるよう努めており、今後も継続して質の向上に取り組んで参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の朝礼にて、前日や当日の支援や事柄をしっかりと記録している。	可能な限り、記録はその日に行うよう徹底しており、支援の検証や改善に活かしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングの他、子どもの心身の状況に変化が見られた場合など、適宜、計画を見直す体制づくりを整えている。	意向確認やモニタリングを行い、支援計画の見直しに適切に反映しております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		自立支援や創作活動なを組み合わせ、社会性と自己表現を育む工夫を行っている。	発達状況やニーズに応じて活動内容を工夫し、バランスの取れた支援の提供に努めて参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		決められた活動のほか、「自由活動」の時間を設けることで自己決定支援に繋げている。	個人の興味や意欲を尊重し、選択の機会を設けることで、主体性や自己決定力の育成に繋げております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		日々の支援を通して子どもの特性や状況を理解した職員が参加している。	利用者の状況をよく理解した職員が会議にに参加し、情報共有や意見交換が適切に行われております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		訪問支援を行うことで、専門性のある助言やアプローチを行い、関係機関との情報共有を実施している。	関係機関と連携した支援体制が整備され、情報共有や役割分担が適切に行われております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		訪問支援を通して、学校での様子を把握している。また、学習状況や集団生活での課題を支援に反映させている。	お子様の様子や支援内容について、相互に情報共有を行い、一貫性のある支援に繋げております。今後も、関係機関との連携を大切にしながら支援の充実に努めて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて、他の利用施設と連絡をし合い、発達の特性や個別支援の引継ぎを行っている。	就学前に利用されていた保育園等の間で、お子様の発達状況や支援内容について情報共有を行っております。これにより、スムーズな環境移行や継続した支援に配慮しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	これまで学校を卒業した利用児がいないため該当なし。	現在、学校卒業後に放課後等デイサービスから福祉サービス事業所へ移行する該当児童がいないため、実績がございません。該当するケースはあった場合には、円滑な移行と継続した支援に繋げていく体制づくりを行って参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	1	開所間もないこともあり、現状、直接的な連携や研修を確保できていないため、今後は体制づくりを行う。	児童発達支援センターとの連携体制を構築し、研修への参加を積極的に行いながら職員の専門性向上に繋げて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	開所間もないことから、近隣施設との連携体制が整っていないが、無理のない範囲で検討する。	近隣の児童クラブや児童館との交流の機会を計画し、地域とのつながりの強化や多様な人との関わりを通じた経験を充実させていきたいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	相談支援専門員を通して、地域の福祉ニーズの共有を受けている。	現在、関係機関との連携強化を目的とした協議会への参加が十分とは言えず、今後は参加体制の見直しを行い、支援の質の向上を目在して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や、場合によっては電話での情報交換を行い、小さな変化にも迅速な対応ができるようにしている。	日常的に保護者と情報を伝え合い、発達状況や共通理解を整理し、支援計画に活かしております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	開所間もないことから、まずは本人の支援を安定させ、今後は家族で参加できるイベントを計画していく。	現在、父母の会や保護者会など、保護者様同士が交流できる場は十分に設けられていない状況でございます。今後は、年間計画に組み入れ、保護者間の交流の機会を増やせるよう取り組んでまいります。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に、児発管から保護者に向けて十分な説明がされている。	運営規程、支援プログラム、利用者負担等につきましては、契約の際に保護者様へご説明をさせて頂きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		個別支援計画を作成するにあたり、本人とそ保護者との面談を設け、最善の利益を優先して目標を検討している。	計画書を作成する際には、必ずアセスメントを行い、利用者やその家族にとって最適な支援の改善や修正などが行えるような体制を整えております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		アセスメントを踏まえた計画を作成し、支援目標や支援内容について説明を行っている。	特に重要な点に関しては細かな支援内容を提示した上で説明を行っております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者からの相談には随時応じており、家庭での困り事や子育ての悩みについての助言や情報提供を行っている。	ご家族からの相談には適切に対応し、適宜、助言も行っております。今後も、職員間での情報共有や対応方法の統一を図りながら、相談しやすい環境づくりを提供して参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	現在、父母の会やきょうだい同士での交流の機会は設けていないが、今後は交流の機会を具体的に検討していく。	今後は、交流を目的とした事業所内でのオープンカフェ等を開催し、普段接することの少ない保護者同士の交流の場を設けて参ります。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情体制については、利用契約時に説明し、苦情があった場合は記録をし、改善につなげる。	対応内容や結果を職員間で共有し、今後のサービス改善に活かすことで、保護者様が安心して利用できる環境づくりに努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	日頃の連絡や活動内容はデイロボソフトを利用しているが、ホームページや通信等を通して子供や保護者に発信できていない。	活動概要や行事予定に関しましては、デイロボソフトを通じて保護者様に発信しております。また、自己評価につきましても適宜お知らせして参りますので、事業所の取り組みや改善状況を理解して頂けるよう努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		写真や関係機関への情報提供については、事前に同意書にて保護者からの同意を得ており、書類等は施錠保管している。	個人情報は記録、保管、共有の際に適切に管理されており、閲覧制限も整備されております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者にはSNSを利用した上で情報共有をしている。子どもに対しては、タイマーや簡易表現などを用いた支援を行っている。	利用者や保護者の状況に応じて、理解しやすい方法で情報提供や説明を行っております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	現在は、地域住民を招いた行事は実施していないが、今後は地域交流の機会を検討していく。	お子様のコミュニケーションスキルや社会性の力を伸ばす機会を設けて参りたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		火災や地震の訓練は、それぞれ年2回の訓練を実施しており、感染症対策についても定期的に確認を行っている。	内部だけでなく外部からの講師を招き、様々な訓練を計画しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPに基づいた訓練は行っていないが、新年度から実施の予定を組み入れている。	当事業所ではBCPを策定し、非常災害の発生に備えております。訓練内容の見直しや周知の徹底を行い、お子様の安全確保に努めて参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬については確認を行っているが、予防接種やてんかん発作等への対応は行っていない。	お子様の健康情報の把握と管理に努め。お子様が安心して過ごせるよう環境づくりに取り組んで参ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	医師の指示書に基づく食物アレルギー児がいない。	現在、食物アレルギーのあるお子様在籍しておらず、医師の指示所に基づく対応の実例はございません。今後、対象となるお子様が利用される場合には、安全かつ適切な対応を速やかに行える体制を整えて参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を策定し、避難訓練等を計画している。また、安全が確保された環境の中で支援を提供している。	お子様が安心して過ごせる環境を確保した上で支援を行っており、今後も安全管理の徹底と支援の質向上に努めて参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2	保護者への周知が不十分なことがある。	マニュアルや計画内容の配布、面談時の説明などを通じて、保護者様への周知を徹底して参りたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、原因や対応策を検討している。	改善報告書と共に職員会議で提出し、より良い環境を提供できるようにしております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止マニュアルを整備し、それに基づいた研修や委員会を予定している。	定期的な虐待防止委員会を開催し、適切な支援を心がけるよう意識を高めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		子どもや職員の安全を確保するためにも、事前に保護者へ同意を得た上で支援している。	契約時に十分な説明を踏まえた上で、保護者の方からの同意を頂いております。